

# 堺中生から 平成の三丘生まで

# 修学旅行いまむかし

堺から八軒家(天満橋付近)まで歩き、船で淀川をさかのぼって京都で第四回内国勸業博覧会を見学、服装はまちまち、「まるで越後獅子のような者もいた」――明治28年母校創立の年、三丘史上初の修学旅行の様子だ。まだ鉄道運賃が、今では考えられないほど高額だった時代であり、交通手段は徒歩が中心、これ以降も行き先は吉野や和歌山など近畿圏内にとどまる。

時代は下り、戦後初の修学旅行は昭和23年、高松・琴平方面へ。翌24年は男女共学後初の修学旅行が実施されたが、このころは希望者のみのもの。また、米持参が普通で、「宿へ明日の弁当と合わせて三食分四合五勺、米を出して、荷物の重量が半分減った」(高3回、行き先は熱海(東京方面)という。春に実施されていたのが秋になったのは昭和37年からで、この年は2つの学年の修学旅行が行われた。行き先は昭和27年以降、九州がほぼ定番(東北との選択ができた時期もあり)となり、交通手段も「列車と船」の時代が長かった。今でも修学旅行といえば関西汽船の船中での思い出を語る人が多い。大転換は平成8年から。航空機が使われるようになり、行き先もTDL(東京ディズニーランド)から北海道、沖縄、さらに海外へと百花繚乱の様相を呈するようになった。今年の予定はグアム。荷物はおしやれなキヤリーケースに、食事のたびにこまめに撮影――というのが今の三丘生だそう。

## 堺中時代(三丘百年史より)



明治31年修学旅行紀行文  
河内南部史跡見学  
外山親三氏(中4・当時1年)の筆によるもの  
当時、毎学年宿泊旅行が行われた。

◆バスで阿蘇の大パノラマを通った車中、バスガイドが阿蘇小唄を教えてくれて、みんなで合唱した。(高14)

◆ベビーブームで1学年11クラス。弓なりのバスの連なりを見て小野雄三校長が「壮观だね。もうこんなことは二度とないだろうな」と。しかしその後、母校は16クラスの時代に…。(高19)

◆当時、昼休みに大縄飛びが流行っていて、久住高原に泊まったときもホテルの前で大縄飛びを…。(高22)

◆当時新婚旅行のメッカだった宮崎県の青島へ行きました。ピンクのスーツを着て帽子をかぶった新婚さんがたくさんいました。(高23)

◆久住高原の雄大さにカルチャーショックを受けました。(高25)

◆どこを取りだしても楽しかったことばかり。絶えることのなかったのは歌と笑いと、そして発見。(高26)

◆ねまき(パジャマ可 ネグリジェ不可)(高33・「修学旅行の心得:携行品」より)

◆福島からTDLに行く船の中で「フォークダンス大会」があった。事前にわざわざ練習していった。(高46)

◆北海道道東の予定が直行便がなくなってシンガポール・ビンタン島に変更、ところが新型インフルエンザで中止。「どこに行くかは問題ではない、皆で行くことが大切」と、翌年2月に東京方面へ。(高63)

## 関東



屋久島(ふじ丸クルージング) 高59

◆ふじ丸の甲板上で生徒と先生全員の記念撮影。屋久島には大勢一度に宿泊できる施設がないので、豪華客船ふじ丸をチャーターし、3泊すべて船中泊。



縄文杉



熊本城 高21



久住高原 高25



南九州 高34

(クラスごとに目印用の旗を作った)  
◆船が嫌いなM先生。往路の(多分?)志布志港までの航路中の担任役をI先生に押し付け、自分は飛行機で九州入りして、桜島で合流した。(高34)



軽井沢 白糸の滝 高48

◆軽井沢で泊まったホテルでは、10月生まれの人にウェディングドレスがプレゼントされた。私は10生まれなのでドレスをもらった。(高48)

## 沖縄



八重山諸島 西表島から由布島まで、海の浅瀬を水牛で渡る。 高60

◆旅行形態は「隊伍の編成」をとり、中隊長の下に五つの小隊。ラッパ手も参加。  
(紀州路旅行 中5・中6)



高知 坂本龍馬像 中42



名古屋城 中43

## 東北



仙台 伊達政宗像 高24



宮城 塩釜 高18



鹿児島 霧島神宮 高16



宮崎 サファリパーク 高35

◆カップルは甲板で愛を語り、そうでないひとは船底で貧民ゲーム。(高35)



軽井沢 テニスコート 高44

## 信州

◆北海道からの帰りの飛行機の機長が母校の先輩だった。(高51)



阿寒国立公園 高62

全日、吹雪だった。



志賀高原(スキー研修) 高49

実施年	卒業期	行き先	ほか
昭和23年	併設3	高松・琴平	
昭和24年	高2	詳細不明(男女共学後初の卒業旅行)	
昭和25年	高3	熱海・強羅・鎌倉・東京方面(希望者のみ)	
昭和26年	高4	熱海・東京・日光(希望制?)	
昭和27年	高5		
昭和36年	高14	九州	列車・船
昭和37年	高15	九州(3年春)	
昭和37年	高16	九州(この学年より2年生の秋に変更)	
昭和38年	高17	九州(国内でコレラ発生、11月に延期)	
昭和39年	高18	九州又は東北	
昭和40年	高19	九州	
昭和41年	高20	九州又は東北	
昭和42年	高21		
昭和43年	高22	九州	
昭和44年	高23		
昭和45年	高24	九州又は東北A、東北B	列車・船
昭和46年	高25	九州	列車・船
昭和47年	高26		
昭和48年	高27	九州又は東北	列車・船
昭和49年	高28	九州	列車・船
昭和50年	高29		
昭和51年	高30	東北	新幹線・列車
昭和52年	高31		
昭和61年	高40	九州	新幹線・船
昭和62年	高41	東北(生徒数急増のため2分団)	新幹線・バス
昭和63年	高42		
平成元年	高43	東北	
平成2年	高44	軽井沢・TDL	新幹線・列車
平成3年	高45	佐渡・東北	列車・船・新幹線
平成4年	高46	東北・TDL	新幹線・船・バス
平成5年	高47		
平成6年	高48	軽井沢・TDL・東京(生徒たちの自主企画)	バス・新幹線
平成7年	高49	長野県志賀高原(スキー宿泊研修)	列車
平成8年	高50	沖縄	
平成9年	高51	北海道	航空機
平成10年	高52	沖縄	
平成11年	高53	北海道	
平成12年	高54	信州・東京(火山注意報発表のため、磐梯から信州に変更)	バス・新幹線
平成13年	高55	東北・北海道	
平成14年	高56		
平成15年	高57	北海道	航空機
平成16年	高58		
平成17年	高59	屋久島	船
平成18年	高60	沖縄 八重山諸島	
平成19年	高61	シンガポール・インドネシアのビンタン島	航空機
平成20年	高62	北海道	
平成21年	高63	東京・鎌倉・TDL・横浜	新幹線
平成22年	高64		
平成23年	高65	北海道	航空機
平成24年	高66		
平成25年	高67	グアム(予定)	航空機

姫路よりS.L.トンネルで愛を閉めるのに忙しかった(高12)

この年新幹線が博多まで開通

前年に航空機利用が許可される

創立110年の記念の年

## 海外



シンガポール 高61

◆楽しかっただけでなく、自国のことについても考えさせられる旅行であった。(高61)

◆ラフティング、乗馬、サイクリングなど北海道の大自然に触れる体験学習を実施(高62、高64、高65、高66)



釧路湿原 高66